

ライセンス情報更新時の ユーザ作業について

免責事項3
更新履歴3
概要4
対象製品
Studio / Robot
Orchestrator
対象バージョン
ユーザ作業実施時期
ユーザ作業の切り分け6
Studio/Robot (Orchestrator 非接続)の手順
(A) スタンドアロンライセンスのアクティベーション(オンライン)7
Studio の起動
ライセンスアクティベーションウィザードを利用
コマンドプロンプトを利用
(B) スタンドアロンライセンスのアクティベーション(オフライン)10
ライセンスアクティベーションウィザードを利用10
コマンドプロンプトを利用11
Orchestrator (スタンドアロン) の手順15
(C) OC ライセンスのアクティベーション(オンライン)15
(D) OC ライセンスのアクティベーション(オフライン)16
(E) OC アクティベーションポータル利用16
(F) Orchestrator (Automation Cloud)17
FAQ

. .

免責事項

本資料は、UiPath ガイドの内容と整合性を保つよう細心の注意を払っておりますが、最新情報でない可能性があります。最新情報につきましては、ガイドの記載をご参照ください。

また、本資料の内容は予告なく不定期で変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

更新履歴

日付	バージョン	備考
2021年4月	1.0	PDF 版 初版。旧 Web 公開コンテンツを一新。

概要

本資料は、対象となる UiPath 製品ライセンス情報の更新時にユーザ側で実行が必要な作業をまとめた資料で す。ライセンス情報が更新されるタイミングは、ご契約更新時、追加でのご購入時、スタンドアロンライセンス を Orchestrator 接続した場合などが含まれます。

本作業の実施は、ご契約更新または追加ご購入における事務手続きがすべて完了していることが前提です。

対象製品

本資料の対象製品は、UiPath Studio、UiPath Robot 、UiPath Orchestrator です。

Studio / Robot

Attended Robot および Studio ファミリー (StudioX、Studio、Studio Pro) を含むユーザライセンスをご利用の場合



本資料では、Orchestrator との接続状況により、Studio / Robot を下記のように分類します。

Studio / Robot と Orchestrator との接続の有無により、ユーザ作業が異なります。

Studio/Robot 接続状況	定義
Orchestrator 非接続	Studio / Robot をスタンドアロンライセンスとしてご利用
Orchestrator 接続 (スタンドアロン)	Studio / Robot をオンプレミス版 Orchestrator に接続してご利用
Orchestrator 接続 (Automation Cloud)	UiPath – Cloud Orchestrated 製品をご利用



Orchestrator

1. Orchestrator (スタンドアロン)、いわゆるオンプレミス版 Orchestrator をご利用の場合

 対象となるライセンスの例: 							
- UiPath - Orchestrator – Standard							
- UiPath - Orchestrator - NonProduction							
- UiPath - Orchestrator – Basic							
					2021 年	:4月現	在

2. Orchestrator (Automation Cloud) をご利用の場合

 UiPath Orchestrator (Automation Cloud) のライセンスはありません。 UiPath – Cloud Orchestrated 製品をご利用するためのプラットフォームです。

対象バージョン

本資料は、サポート対象バージョンにおける作業手順が記載されています。

オンプレミス版サポート対象バージョン(2021年4月現在)

対象バージョン	備考
2020.10.x	2022 年 10 月 28 日までメインストリームサポート
2020.4.x	メインストリームサポート終了。2021 年 5 月 11 日まで延長サポート
2019.10.x	2021 年 11 月 11 日までメインストリームサポート
2019 4	メインストリームサポート終了。2021 年 12 月 12 日まで延長サポート
2018.4.X	本資料記載の手順は、Orchestrator 非接続の場合、2018.4.7 以上であることが前提

本資料ご参照の時点で上記記載バージョンのサポートが終了している場合がございます。

最新の情報については、下記ガイドをご参照ください。

『オンプレミス版サポートライフサイクル』

URL: https://www.uipath.com/ja/legal/trust-and-security/legal-support/product-lifecycle

『UiPath Orchestrator (Automation Cloud) のサポートライフサイクル』

URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/about-backward-and-forwardcompatibility#automation-cloud-orchestrator



ユーザ作業実施時期

ライセンス契約更新時の場合、ユーザ作業の実施は、更新後の契約開始日以降におこなってください。 ご契約期間中にライセンス情報更新が行われる場合、ユーザ作業の実施は、UiPath 側でのライセンス情報更新 処理完了後におこなってください。

ご契約期間中にライセンス情報更新が行われる例
 Orchestrator (スタンドアロン) に Studio/Robot を追加接続した場合
 Orchestrator (スタンドアロン) から Studio/Robot を接続解除した場合

ユーザ作業の切り分け

UiPath 製品別のユーザ作業をまとめています。ご利用の UiPath 製品とご利用環境に適合するユーザ作業を特定 し、後続の手順を参考に作業をおこなってください。「アクティベーション」はアクティベーション手順にオン ライン・オフラインの区別がある場合のみ記載しています。

1オンラインとは?

お客様のネットワーク環境におけるプロキシやファイアウォールで UiPath ライセンスサーバーがホワイトリストに追加されており、UiPath ライセンスサーバに接続できる状態にあることを意味します。

UiPath 製品		ライセンス 情報取得先	アクティベ ーション	ユーザ作業
Studio	Orchestrator 非接続	UiPath ライセンス サーバ	オンライン オフライン	(A) (B)
	Orchestrator 接続 (スタンドアロン)	Orchestrator (スタンドアロン)	N/A	作業なし ※1
	Orchestrator 接続 (Automation Cloud)	Orchestrator (Automation Cloud)	N/A	作業なし ※1
Robot	Orchestrator 非接続	UiPath ライセンス サーバ	オンライン オフライン	(A) (B)
	Orchestrator 接続 (スタンドアロン)	Orchestrator (スタンドアロン)	N/A	作業なし ※1
	Orchestrator 接続 (Automation Cloud)	Orchestrator (Automation Cloud)	N/A	作業なし ※1
	Orchestrator	LliDath ライセンフ	オンライン	OC 2019.10 以上 (C)
(スタンドアロン)		サーバ	オフライン	OC 2019.10 以上 (D) OC 2018.4 (E)
Orchestrator (Automation Cloud)		UiPath ライセンス サーバ	N/A	(F)

※1 Orchestrator 接続の場合、Orchestrator でライセンス認証されているため、Orchestrator ライセンス情報更新のユ ーザ作業の完了とともに、自動更新されます。

Studio/Robot (Orchestrator 非接続)の手順

(A) スタンドアロンライセンスのアクティベーション(オンライン)

オンラインアクティベーションは、次のいずれかの方法で実行します:

- ⇒ Studio の起動
- ⇒ ライセンスアクティベーションウィザードを利用
- ⇒ コマンドプロンプトを利用

1 ユーザが1 ライセンスキーで複数の端末をご利用の場合、すべての端末で、ユーザ作業を実施する必要があり ます。後続の各手順をご参照ください。

Studio の起動

ポイント

- お客様のネットワーク環境におけるプロキシやファイアウォールで UiPath ライセンスサーバーがホワイト リストに追加されている必要があります。
- ライセンス情報更新前後でライセンスキー変更が無いこと、ライセンスが失効していないことが前提です。
- Studio がインストールされていれば、Studio の利用状況に関わらず、この手順を実行できます。

手順

1. Studio 起動します。起動時に UiPath ライセンスサーバへ接続し、最新のライセンス情報を取得することで、自動更新されます。

ライセンスアクティベーションウィザードを利用

ポイント

- Studio がインストールされていれば、Studio の利用状況に関わらず、この手順を実行できます。
- 再度アクティベーション画面を表示し、ライセンスのアクティベーションを行います。
- 更新前後でライセンスキーが変更した場合も、本手順をそのまま実行できます。

手順

UiPath ガイド: 『Activate Studio ―ライセンスキーの更新』

URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/studio-activating-your-studio-license



- 1. UiPath Studio を起動し、左ペインに表示の [設定] > [ライセンスとプロファイル] に移動します。
- 2. [ローカル ライセンスを変更] ※をクリックし、アクティベーション画面を開きます。

※ 2020.4 以下の場合、[ライセンスを表示または編集]

			⊖ - □ ×	
	開く 同じる スタート テンプレート チーム	 設定 全般 デザイン 場所 パッケージソースを管理 		2020.10 ~ の場合
1	ツ-ル 設定 へルプ	P _Ω 512722711 Image: start sta		
	UD Path Sudio 220108 Enterpris License Windows インストーラー 5 週間 で有効制限が切れます			

- 3. [自動] オプションが選択されていることを確認し、 [ライセンス キーを追加] フィールドに、ライセンス 情報更新後のライセンス キーを入力します。
- 4. [続行] ボタンをクリックします。これでライセンスのオンラインアクティベーションが完了します。

コマンドプロンプトを利用

ポイント

- ライセンス利用ユーザの Windows アカウントヘログインしていることが前提です。
- UiPath.LicenseTool.exe を利用します。
- ライセンスキー変更有無により、操作内容が一部異なります。
- ライセンスキーの変更がある場合、変更前のライセンスを一度ディアクティベーション後、変更後のライセンスキーでライセンスをアクティベーションします。

手順

UiPath ガイド:『LicenseTool コマンドの説明―オンラインでの操作』 URL: https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/licensetool-command-descriptions

ライセンスキーの変更有無により操作が異なります。該当する手順を実行してください。

- ライセンスキーの変更が無い場合
 - 1. コマンドプロンプトを起動します。cd コマンドで UiPath.LicenseTool.exe がインストールされたディレクトリへ移動します。

. . .

.

cd C:\Program Files (x86)\UiPath\Studio

2. 下記のコマンドを実行してオンラインアクティベーション (更新)を実行します。

UiPath.LicenseTool.exe update

3. 下記の表示とともに、オンラインアクティベーション(更新)が完了します。

License registration state: ActiveLicense License successfully updated!

ライセンスキーの変更がある場合

1. コマンドプロンプトを起動します。cd コマンドで UiPath.LicenseTool.exe がインストールされたディレクトリへ移動します。

cd C:\Program Files (x86)\UiPath\Studio

2. 下記のコマンドを実行して、一度ライセンスのディアクティベーションを実行します。

UiPath.LicenseTool.exe deactivate

3. 下記の表示とともに、ライセンスがディアクティベーションされます。

License registration state: NoLicenseAvailable License successfully deactivated!

4. 変更後のライセンスキーで、下記のコマンドを実行しオンラインアクティベーションを実行します。

UiPath.LicenseTool.exe activate -1 <変更後のライセンスキー>

5. 下記の表示とともに、オンラインアクティベーションが完了します。

License registration state: ActiveLicense License successfully activated!

(B) スタンドアロンライセンスのアクティベーション(オフライン)

オフラインアクティベーションは、次のいずれかの方法で実行します:

- ⇒ ライセンスアクティベーションウィザードを利用
- ⇒ コマンドプロンプトを利用

1 ユーザが 1 ライセンスキーで複数の端末をご利用の場合、すべての端末で、ユーザ作業を実施する必要があり ます。後続の各手順をご参照ください。

ライセンスアクティベーションウィザードを利用

ポイント

- Studio がインストールされていれば、Studio の利用状況に関わらず、この手順を実行できます。
- 再度アクティベーション画面を表示し、ライセンスのアクティベーションを行います。
- 更新前後でライセンスキーが変更した場合も、本手順をそのまま実行できます。
- アクティベーション画面は、アクティベーションのすべての作業が完了するまで、閉じたり、[戻る] をク リックしないでください。アクティベーションエラーの原因となります。

手順

UiPath ガイド: 『Activate Studio ―ライセンスキーの更新・オフラインでのアクティベーション』 URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/studio-activating-your-studio-license

- 1. UiPath Studio を起動し、左ペインに表示の [設定] > [ライセンスとプロファイル] に移動します。
- [ローカル ライセンスを変更] ※ をクリックして、アクティベーション画面を開きます。
 ※ 2020.4 以下の場合、[ライセンスを表示または編集]



3. [手動] オプションが選択されていることを確認の上、 [ライセンス キーを追加] フィールドに、ライセン ス情報更新後のライセンス キーを入力し、[続行] をクリックします。

- 4. 手動 ステップ 1 画面に [ライセンス要求] (アクティベーション要求証明書)の文字列が表示されます。
 この文字列すべてをアクティベーション証明書ファイル(例:certificate.txt)として保存し、[続行]をク リックします。
- インターネットに接続可能な端末の任意のブラウザより、アクティベーションポータル (https://activate.uipath.com/)にアクセスし、[ライセンスのアクティベーションまたは更新] タブが 選択されていることを確認の上、ライセンス要求 (アクティベーション要求証明書)を貼り付けます。
- 6. [ライセンスファイルを生成]をクリックします。
- 7. 「正常にアクティベーションされました」と表示され、ライセンスファイルが生成されます。
- [ライセンスファイルのダウンロード] または [ライセンスをクリップボードにコピー] を選択します。必要 に応じて、生成されたライセンスファイルをアクティベーションポータルにアクセスした端末からアクティ ベーション作業中の端末へ移動します。
- アクティベーション作業中の端末で、生成されたライセンスファイル (ライセンス応答) を手動 ステップ3 画面に貼り付け、[続行] をクリックします。
- 10. これでライセンスのオフラインアクティベーションが完了します。

コマンドプロンプトを利用

Path Reboot™ Work.

ポイント

- ライセンス利用ユーザの Windows アカウントヘログインしていることが前提です。
- UiPath.LicenseTool.exe を利用します。
- ライセンスキー変更有無により、操作内容が一部異なります。

手順

UiPath ガイド: 『LicenseTool コマンドの説明―オフラインでの操作』

URL: https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/licensetool-command-descriptions

ライセンスキーの変更有無により操作が異なります。該当する手順を実行してください。

- ライセンスキーの変更が無い場合
 - 1. コマンドプロンプトを起動します。cd コマンドで UiPath.LicenseTool.exe がインストールされたディレクトリへ移動します。

cd C:\Program Files (x86)\UiPath\Studio



2. 下記のコマンドを実行してアクティベーション要求テキスト生成を実行します。

UiPath.LicenseTool.exe update-request

ライセンス更新要求テキストが Update Token としてコマンドプロンプト画面に出力されます。 Update Token の内容を任意のテキストファイルに保存します。

出力例:

Go to https://activate.uipath.com and paste the update token in the dialogue box to generate the license file for offline update.

- インターネットに接続可能な端末の任意のブラウザより、アクティベーションポータル (https://activate.uipath.com/)にアクセスし、[ライセンスのアクティベーションまたは更新] タ ブが選択されていることを確認の上、ライセンス更新要求テキスト (Update Token)を貼り付け、[ラ イセンスファイルを生成]をクリックします。
- 4. 「正常にアクティベーションされました」と表示され、ライセンスファイルが生成されますので、ラ イセンスファイルのダウンロード]または [ライセンスをクリップボードにコピー]を選択します。
- 5. 手順2の端末で、下記のコマンドをのいずれかを実行し、生成されたライセンスファイルの内容を反 映し、オフラインでライセンス更新を実行します。

(ア)ライセンスファイルのパスを指定する場合

UiPath.LicenseTool.exe update-offline -f <ライセンスファイルのディレクトリ>

(イ) ライセンスファイルの内容をそのまま入力する場合

UiPath.LicenseTool.exe update-offline -i <ライセンスファイルの内容>

6. 下記の表示とともに、オフラインでライセンス更新が完了します。

License registration state: ActiveLicense License successfully updated!



ライセンスキーの変更がある場合

 変更前のライセンスキーのライセンス情報を削除するため、該当するディレクトリへ移動し、 LicenseInternal フォルダ配下 (ライセンス情報)を削除します。この操作は変更前のライセンスキー が失効しており、今後利用されることがないことが前提です。

変更前のライセンスキーの形態	ディレクトリ
16 桁ライセンスキー(Named User)	%AppData%¥Uipath¥LicenseInternal
16 桁ライセンスキー(Node locked)	% Program Data% XI lipath XI iconso Intornal
18 桁ライセンスキー	

2. コマンドプロンプトを起動します。cd コマンドで UiPath.LicenseTool.exe がインストールされたディレクトリへ移動します。

cd C:\Program Files (x86)\UiPath\Studio

3. 下記のコマンドを実行してアクティベーション要求テキスト生成を実行します。

UiPath.LicenseTool.exe activation-request -1 < 5/tv>

アクティベーション要求テキストが Activation Token としてコマンドプロンプト画面に出力されます。Activation Token の内容を任意のテキストファイルに保存します。

出力例:

```
C:\Program Files (x86)\UiPath\Studio\UiPath.LicenseTool.exe activation-
request -1 <ライセンスキー>
```

Activation Token:

4. インターネットに接続可能な端末の任意のブラウザより、アクティベーションポータル

(https://activate.uipath.com/) にアクセスし、[ライセンスのアクティベーションまたは更新]タブ が選択されていることを確認の上、アクティベーション要求テキスト (Activation Token)を貼り付 け、[ライセンスファイルを生成] をクリックします。

5. 「正常にアクティベーションされました」と表示され、ライセンスファイルが生成されますので、[ラ イセンスファイルのダウンロード] または [ライセンスをクリップボードにコピー] を選択します。

手順3の端末で、下記のコマンドをのいずれかを実行し、生成されたライセンスファイルの内容を反
 映し、オフラインでライセンス更新を実行します。

(ア) ライセンスファイルのパスを指定する場合

UiPath.LicenseTool.exe activate-offline -f <ライセンスファイルのディレクトリ>

(イ) ライセンスファイルの内容をそのまま入力する場合

UiPath.LicenseTool.exe activate-offline -i <ライセンスファイルの内容>

7. 下記の表示とともに、オフラインでライセンス更新が完了します。

License registration state: ActiveLicense License successfully activated!



Orchestrator (スタンドアロン) の手順

正常にライセンス更新を完了させるため、ユーザ作業を実行する前に下記をご確認ください。

 ライセンス情報更新時に Orchestrator に接続するロボット数が減少する場合、ご利用停止予定の Studio/Robot を Orchestrator から切断し、Orchestrator から該当するロボットを削除してください。

 接続するロボット数が減少する例
 Attended Robot (Attended User) Named User のライセンス数が 10 から 5 になる場合、Orchestrator
 上の Attended Robot (Attended User) ロボットの設定数を 5 以下にする。
 UiPath ガイド: Orchestrator『ライセンスの管理』
 URL: https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/docs/managing-your-licenses
 UiPath ガイド: Orchestrator 『ライセンスについて』
 URL: https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/about-licensing

(C) OC ライセンスのアクティベーション(オンライン)

ポイント

- Orchestrator が プロキシサーバ経由でインターネット接続されている環境の場合、オンラインでのアク ティベーション操作ができません。
- 更新前後でライセンスキーが変更される場合、(D) OC ライセンスのアクティベーション(オフライン)
 の手順を実行してください。

手順

UiPath ガイド: 『ライセンスの管理-ライセンスの更新』

URL: https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/docs/managing-your-licenses

- 1. 更新対象のライセンスがアクティベーションされている Orchestrator にログインし、テナントレベルまた はホストレベルの [ライセンス] ページに移動します。
- [更新]をクリックします。「ライセンスの更新方法を指定してください。」というメッセージが表示されます。
- 3. [オンライン]を選択します。更新は自動的に処理されます。

(D) OC ライセンスのアクティベーション(オフライン)

手順

UiPath ガイド:『ライセンスの管理-ライセンスの更新』

URL: https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/docs/managing-your-licenses

- 1. 更新対象のライセンスがアクティベーションされている Orchestrator にログインし、テナントレベルまた はホストレベルの [ライセンス] ページに移動します。
- [更新] をクリックします。「ライセンスの更新方法を指定してください。」というメッセージが表示されます。
- 3. [オフライン] を選択します。「オフラインでアクティベーションー有効なライセンス ファイルをお持ちで すか?」というダイアローグボックスに切り替わります。[いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 「オフラインでアクティベーションー要求ファイルを生成」というダイアローグボックスが表示されます。
 [ライセンスキー]を入力、環境を選択後、[生成]をクリックします。
- 5. 要求ファイルが生成されます。ダイアローグボックスの内容に従い、要求ファイルをダウンロードしま す。
- インターネットに接続可能な端末の任意のブラウザより、UiPath アクティベーションポータル (https://activate.uipath.com) にアクセスし、要求ファイルをアップロードしてライセンス ファイル を生成します。
- Orchestrator の「オフラインでのアクティベーション」ダイアローグボックスに戻り、UiPath アクティ ベーションポータルで生成されたライセンス ファイルをアップロードし、[更新] をクリックするとライセ ンス情報が更新されます。

(E) OC アクティベーションポータル利用

ポイント

- Orchestrator バージョン 2018.4 以下の場合のみ、本手順を実行してください。
- 本手順では、インスタンス ID が必要になります。インスタンス ID は、OC アクティベーションポータル で初回アクティベーション時に生成されています。

手順

UiPath ガイド: 『ライセンスをアクティベーション・アップロードする』 URL: https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/v2018.4/docs/activating-and-uploading-yourlicense

- 1. Orchestrator 専用 アクティベーション ポータル(https://activate.uipath.com/orchestrator)にアクセスし ます。このポータルは、Orchestrator バージョン 2019.4 以下専用です。
- 2. [ライセンスを更新] をクリックし、[インスタンス ID] フィールドにインスタンス ID を入力します。
- 3. [ライセンス コード] フィールドにライセンス コードを入力します。
- [Orchestrator のバージョン]のドロップダウン リストからご利用の Orchestrator のバージョン を選択し、[ライセンス ファイルを更新]をクリックします。ライセンス ファイルが生成され、ローカルに保存されます。
- 5. Orchestrator にアクセスし、テナントレベルまたはホストレベルの [ライセンス] ページに移動します。
- 6. [ライセンスをアップロード]をクリックします。
- 7. アップロードするライセンスファイルを選択するためのウィンドウが開きます。
- 8. 生成されたライセンスファイル(例:license.txt)を選択し、[開く]をクリックします。
- 9. Orchestrator にライセンスファイルがアップロードされると、[ライセンス] ページに各 Robot の種類ご とに利用可能なライセンス数および利用期限日が表示されます。

(F) Orchestrator (Automation Cloud)

ポイント

- Automation Cloud のライセンスは、UiPath でのライセンス情報更新処理で自動的に更新されます。
- Orchestrator へ配布しているライセンス数量が更新前後で減少する場合にのみ作業が必要です。

手順

UiPath ガイド: 『ライセンスの割り当て超過』 URL: https://docs.uipath.com/automation-cloud/lang-ja/docs/license-overallocation

- 1. ご利用停止予定の Studio/Robot を Orchestrator から切断し、Orchestrator から該当するロボットを削除 してください。
- 2. Automation Cloud 上で [管理] > [テナント] ヘアクセスし、対象テナント画面右側のメニューより、ライ センス割り当て画面を開き、各ライセンスを適切な数量に割り当てて保存してください。

FAQ

Q. 更新前後でライセンスキーが変更される場合、何か特別な操作が必要ですか。

はい。本資料でご案内の手順内にライセンスキーが変更される場合の手順が含まれていますので、該当箇所をご 確認ください。

Q. 更新前後で Orchestrator(非接続)の Studio/Robot のライセンスモデルが変更される 場合、何か特別な操作が必要ですか。

はい。Named User ライセンスに変更される場合、更新後にご利用ユーザの Windows アカウントにログインし、更新作業を実行してください。

Q. 更新前後で Orchestrator 接続 の Studio/Robot のライセンスモデルが変更される場合、何か特別な操作が必要ですか。

はい。Named User ライセンスに変更される場合、Orchestrator ライセンス更新前に、ご利用停止予定の Studio/Robot の Orchestrator 接続を切断し、Orchestrator からロボットを削除してください。

〕 UiPath ガイド : Orchestrator『ライセンスの管理』 URL: <u>https://docs.uipath.com/orchestrator/lang-ja/docs/managing-your-licenses</u> UiPath ガイド : Orchestrator『ライセンスについて』 URL: <u>https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/about-licensing</u>

Q. Orchestrator (スタンドアロン) をマルチテナント構成で利用している場合、何か特別

な操作は必要ですか。

はい。Host テナントから各テナントヘライセンスを配布している場合は必要です。

Host テナントのライセンス更新しても、各テナントライセンスの有効期限は自動更新されません。

Host テナントでライセンスの更新を行った後、Host テナント内のテナント画面で、ライセンスを更新したいテ ナントの「ライセンスの割り当てボタン」を押し、どれか一つでもロボットのライセンス数を再入力し、「割り 当て」ボタンを押し、ライセンス情報更新を反映してください。 Ui Path Reboot™ Work.

Q. Orchestrator (非接続)の Studio/Robot をプロキシ接続でオンラインアクティベーシ

ョンする方法はありますか。

はい、UiPath.LicenseTool.exe コマンドラインツールにあるオプションのパラメーターを利用して、プロキシ 接続でライセンスをアクティベーションする設定を行うことで、オンラインアクティベーションができます。 詳細は、下記手順をご参照ください。

手順

UiPath ガイド: 『LicenseTool コマンドの説明―オフラインでの操作』 URL: https://docs.uipath.com/robot/lang-ja/docs/licensetool-command-descriptions

ライセンスキーの変更有無により操作が異なります。手順(A)のコマンドプロンプトを利用の場合の、手順の一 部を下記に差し替えてください。該当する手順を実行してください。

ライセンスキーの変更が無い場合

手順2を下記に差し替えてください。

下記のコマンドを実行してオンラインアクティベーションを実行します。

UiPath.LicenseTool.exe update -u <プロキシ接続に使用される URL> -p <プロキシ接続 ポート番号> -s<プロキシユーザー名> -w<プロキシユーザーのパスワード>

ライセンスキーの変更がある場合

手順4を下記に差し替えてください。 下記のコマンドを実行してオンラインアクティベーションを実行します。

UiPath.LicenseTool.exe activate -1 <ライセンスキー> -u <プロキシ接続に使用され る URL> -p <プロキシ接続ポート番号> -s<プロキシユーザー名> -w<プロキシユーザーのパ スワード>



Q.ライセンス更新時に、Studio/Robot をバージョンアップする場合の手順を教えてくださ

い。

Studio/Robot のバージョンアップ後、本資料を参考の上、ライセンス情報更新手順を実行してください。

6			
	UiPath ガイド:『Studio を更新する』		
	URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/studio-update-studio		
÷	UiPath ガイド:『Robot を更新する』		
	URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/updating-the-robot		
	UiPath ナレッジベース記事:『UiPath 製品 バージョンアップガイド』		
	URL: https://www.uipath.com/ja/resources/knowledge-base/uipath-version-up-guide		
	OKL, https://www.upath.com/ja/resources/knowledge-base/upath-version-up-guide		

Q.ライセンス更新時に、Orchestratorのバージョンアップをする場合の手順を教えてくだ

さい。

Orchestrator のバージョンアップ後、本資料を参考の上、ライセンス情報更新手順を実行してください。

UiPath ガイド:『更新と移行について』 URL: https://docs.uipath.com/installation-and-upgrade/lang-ja/docs/about-updating-and-migrating UiPath ナレッジベース記事: 『UiPath Orchestrator Version Up Guide』 URL: https://www.uipath.com/ja/resources/knowledge-base/uipath-orchestrator-version-up-guide

Q. Studio/Robot を Orchestrator (スタンドアロン) に接続した場合、作業は必要ですか。

UiPath 側でライセンス情報更新処理を行い、Orchestrator (スタンドアロン) に Studio/Robot を追加接続さ れた場合、Orchestrator (スタンドアロン)の情報更新を反映するため、本資料 (C)、(D)、(E) のいずれかを実 行します。その後、Studio/Robot の接続設定を行います。

Q. Studio/Robot を Orchestrator (Cloud) に接続した場合、作業は必要ですか。

UiPath 側で Automation Cloud のライセンス情報更新処理を行い、Automation Cloud に Studio/Robot が追加された場合、Automation Cloud に自動的にライセンスが追加されています。Automation Cloud にユーザー追加、またテナントヘライセンス配布後、Studio/Robot の接続設定を行います。